

温室効果ガス観測技術衛星等による排出量検証に向けた技術高度化事業



【令和3年度補正予算額 3,026百万円】



温室効果ガス・水循環観測技術衛星（GOSAT-GW）を確実に開発し、気候変動に関する科学の発展と政策に寄与します。

1. 事業目的

地球全大気の温室効果ガス濃度の状況を継続して把握する体制を強化するため、GOSATシリーズの3号機となるGOSAT-GW衛星を令和5年度に打ち上げることを目指している。今般のコロナ禍の影響により衛星観測システムをはじめ性能評価機器の開発などの遅れが懸念されているため、開発計画を前倒して実機の製造等を行う。

2. 事業内容

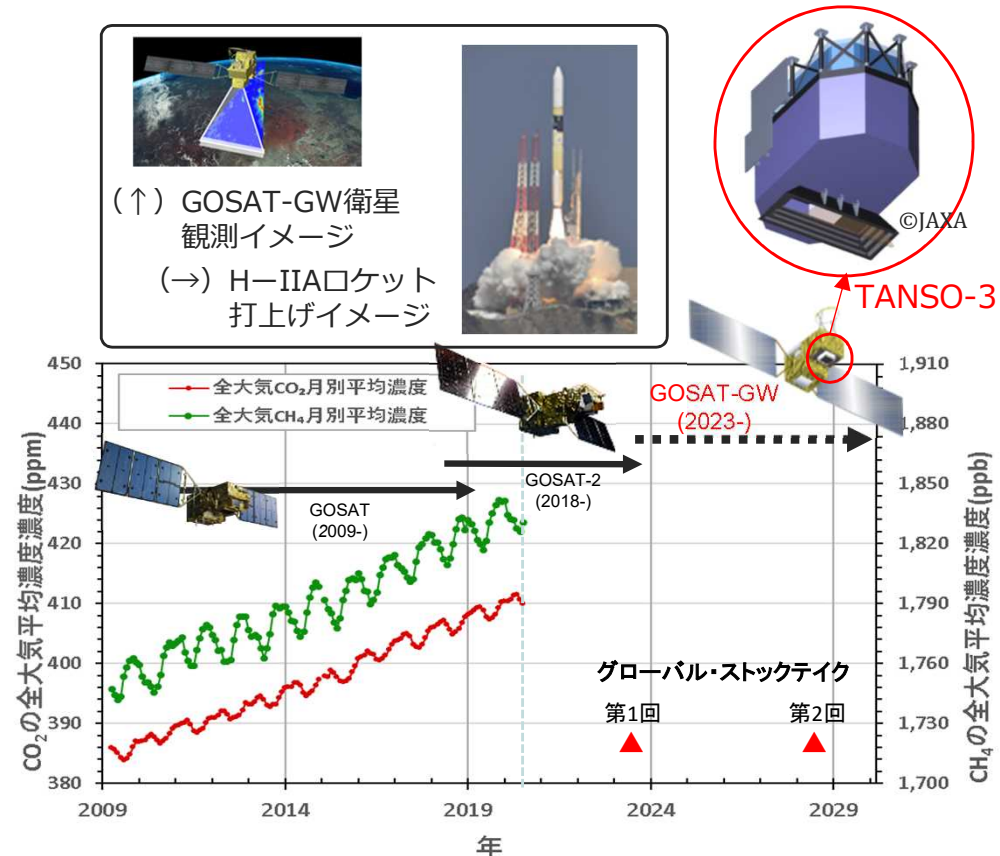
本事業では、宇宙基本計画（2020年6月閣議決定）に基づき、温室効果ガス・水循環観測技術衛星（GOSAT-GW）の2023年度打上げを目指し文部科学省と共同で開発を行っている。今般のコロナ禍による影響が長期化の様相を呈していることから、国内外の開発メーカーの作業遅延により、全体計画が遅れることが懸念されている。GOSAT-GWを確実に開発し、2023年度の打上げ前に準備を着実に整えるため、以下の対策を講じる。

- ① 試作（開発モデル）を必要とする構成部品は、開発モデルの試験結果を反映した実機製造を終え次第、試験評価を開始
- ② 他の衛星で実績があり試作を必要としない構成部品については、実機製造を終え次第速やかに試験評価に着手
- ③ GOSAT-GW衛星の打上げ準備の先行着手

3. 事業スキーム

- 事業形態 委託事業
- 委託先 民間事業者・団体
- 実施期間 令和3年度

4. 事業イメージ



お問合せ先： 環境省 地球環境局 総務課 脱炭素化イノベーション研究調査室 電話：03-5521-8247